

集出荷支援と新商品開発によるいつまでも農業に従事できる「生き甲斐」体制づくり

朝倉市高木元気づくり協議会（朝倉市高木地区）【地域協議会構成団体】朝倉市（事務局）、高木地区、直売所（朝倉市三連水車の里あさくら）

1. 将来ビジョンの作成

策定年月：平成28年7月

1. 高齢となり出荷困難となった出荷組合員の要請により、集出荷業務を代行する。
 - ・地区コミュニティ協議会への説明と意見伺い・組合員を対象としたアンケート実施。
 - ・現地組合員への説明会の実施・地区住民への説明会開催。
 - ・集出荷業務のトライアル実施。
2. 地域農産物を活用した商品開発を行い販売までつなげ商品のブランド化を推進する。



【役員会開催】



【アンケート実施】

2. 将来ビジョン達成のための取組

I 農林業を守る

- ・集出荷業務の推進 29年度延べ40日以上の出荷を実施。30年度は延べ10日以上の実施。（災害の影響により減少）

II 農林業の所得や雇用を増やす

- ・高木地区特産品「梨」のB級品を活用し「梨ジュース」「梨ジェラート」を開発し販売。

<販売実績>

梨ジュース H29 1,531杯, H30 953杯

梨ジェラート H29 1,024個, H30 630個

- ・梨ジュースのボトル化 710ml、180mlで試作



【集出荷業務トライアル】



【梨ジュース・梨ジェラートの販売】

3. 今後の展望

1. 集出荷業務の充実と拡大を図る。（対象者拡大、エリア拡大）

- ・集出荷業務を通じて直売所への出荷組合員拡大を図る。
- ・買い物困難者への支援検討開始。

2. 継続した商品開発と販売チャネルの拡大

- ・梨を活用したドライフルーツの商品化
- ・梨以外の特産品の加工検討
- ・梨ジュースについてはボトル化により販路拡大が可能
「ふるさと納税」の返礼品 等



【集出荷業務活性化】



【ドライフルーツの商品化】



【梨ジュースのボトル化】